

ワールドトライアスロンシリーズ（2021/横浜） ワールドトライアスロンパラシリーズ（2021/横浜）



海外選手受入計画 (抜粋版)

2021 World Triathlon
Championship Series Yokohama
World Triathlon Para Series Yokohama
15-16 May 2021



第0稿	2021年1月27日
第1稿	2021年2月 1日
第2稿	2021年2月15日
第3稿	2021年3月 1日
第4稿	2021年3月 8日
第5稿	2021年3月15日
第6稿	2021年3月29日
第7稿	2021年4月 1日
第8稿	2021年4月 8日
第9稿	2021年4月12日
第10稿	2021年4月13日



公益社団法人 日本トライアスロン連合

■ 2021ワールドトライアスロンチャンピオンシップシリーズ横浜の 受入計画を策定する上で監修する専門医



■ 氏名

二木 芳人 (にき よしひと)

■ 肩書

昭和大学 医学部 内科学講座
臨床感染症学部門 客員教授

■ 役職

客員教授

■ 専門分野

感染症学、呼吸器病学

■ 資格

日本感染症学会感染症専門医、日本感染症学会指導医、日本内科学会総合内科専門医、日本内科学会指導医、日本呼吸器学会呼吸器専門医、日本呼吸器学会指導医、ICD(インフェクションコントロールドクター)、日本臨床薬理学会特別専門医

■はじめに

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2020大会をはじめ、多くのスポーツイベントが中止となりましたが、2021大会を開催することで、皆様に「夢」や「希望」をお届けすることがわたしたちの使命であると考えます。

開催にあたっては、イベントに関わるすべての方の健康と安全を最優先に考え、感染症対策については、政府・自治体等の方針に従い、最新の情報を適用し、各所と連携して進めます。

また、大会感染症対策を広く周知し、関係者の皆さまのご理解とご協力に努めます。

- **選手及びスタッフ、関係者の受入については、国内外問わず、日本国政府による特段の事情に準ずる。**
- **全関係者は大会が定める感染症対策ガイドラインに従うこと。**
- **競技(レース)大会については、World Triathlon及び大会事務局のガイドラインに準ずる。**
- **感染症専門家の監修のもと、本大会の受入計画を策定する。**

- 海外入国者受入の条件として、下記の防疫措置を実施する義務あり。
- 日本人選手関係者に関しては、海外入国者同等の防疫措置を行う。

《対象者》

- ①オリパラ関連大会に出場する日本人選手・外国人選手
- ②①の選手に随行しそのコンディション調整等に不可欠な者
- ③大会関係者

《防疫措置》

出国

- ▶ 出国前(72時間以内)に検査を受検し「陰性」の検査証明を取得。入国時に提出。
- ▶ 入国前14日間健康管理。新型コロナウイルス感染症の症状が認められる場合は、渡航中止。

入国

- ▶ 全入国者は、到着空港(成田国際空港)の検疫所において抗原検査を受検。

入国後14日間

①健康管理

- ▶ 健康状態の報告等を実施。陽性判明時に陽性登録を行うため、接触確認アプリを利用。
- ▶ 陽性者が判明した場合、さかのぼって行動を確認するため、地図アプリで位置情報保存。
- ▶ 入国後3日目、競技日前日、競技終了後にPCR検査を実施
 - ※変異株流行国の入国後3日目の検査結果をスポーツ庁、厚生労働省、成田空港検疫所に報告する。
 - ※入国後、滞在期間が10日間以上になる場合は入国後8日目にも検査を実施する。
 - ※日本選手団及び対象者に帯同する日本国内から参加するスタッフは、隔離解除後の5日目と14日目に検査を実施する。
 - ※入国3日目と試合前日の検査日が同日の場合、1回の検査で可

②行動管理

- ▶ 一般の方との接触を避けた行動管理を徹底する。
- ▶ 入国後14日間の行動範囲は、食事を含め用務先(競技会場、練習場等)と宿泊場所の往復のみに限定。
- ▶ 基本的な感染予防(ソーシャルディスタンスの確保・手指の消毒または手洗い・マスクの着用等)

③移動手段

- ▶ 公共交通機関を利用せず、専用車での移動とする。

④実効性担保

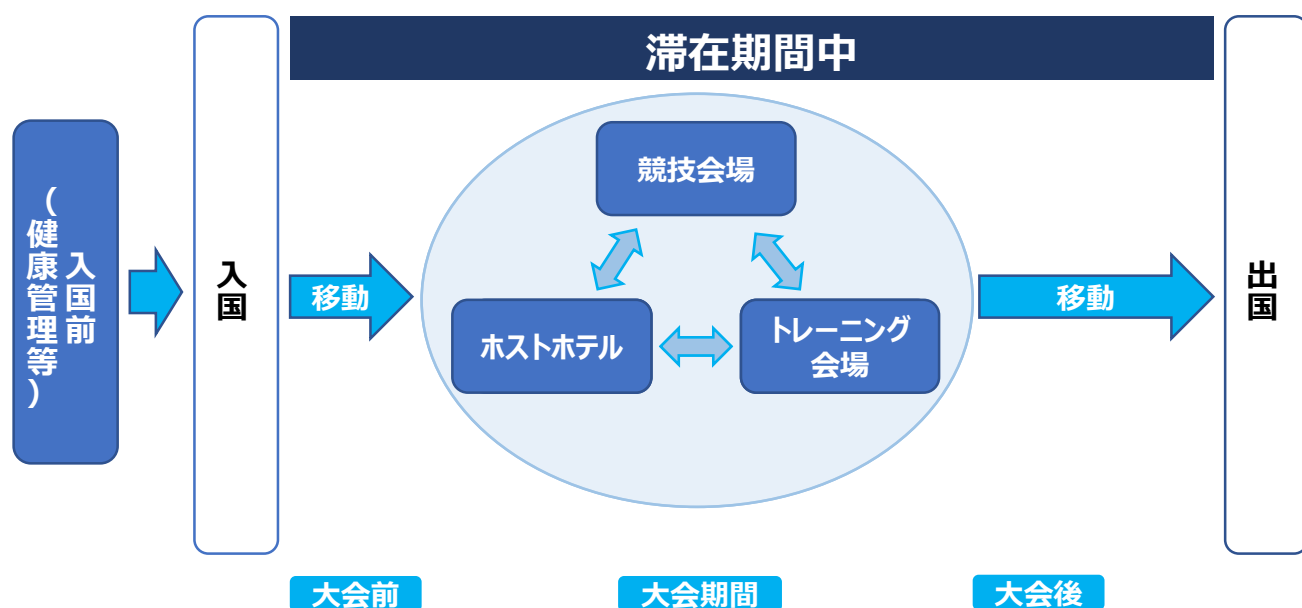
- ▶ 受入責任者による管理。誓約書、本邦活動計画書の事前提出。誓約に違反した場合の措置等。

⑤その他

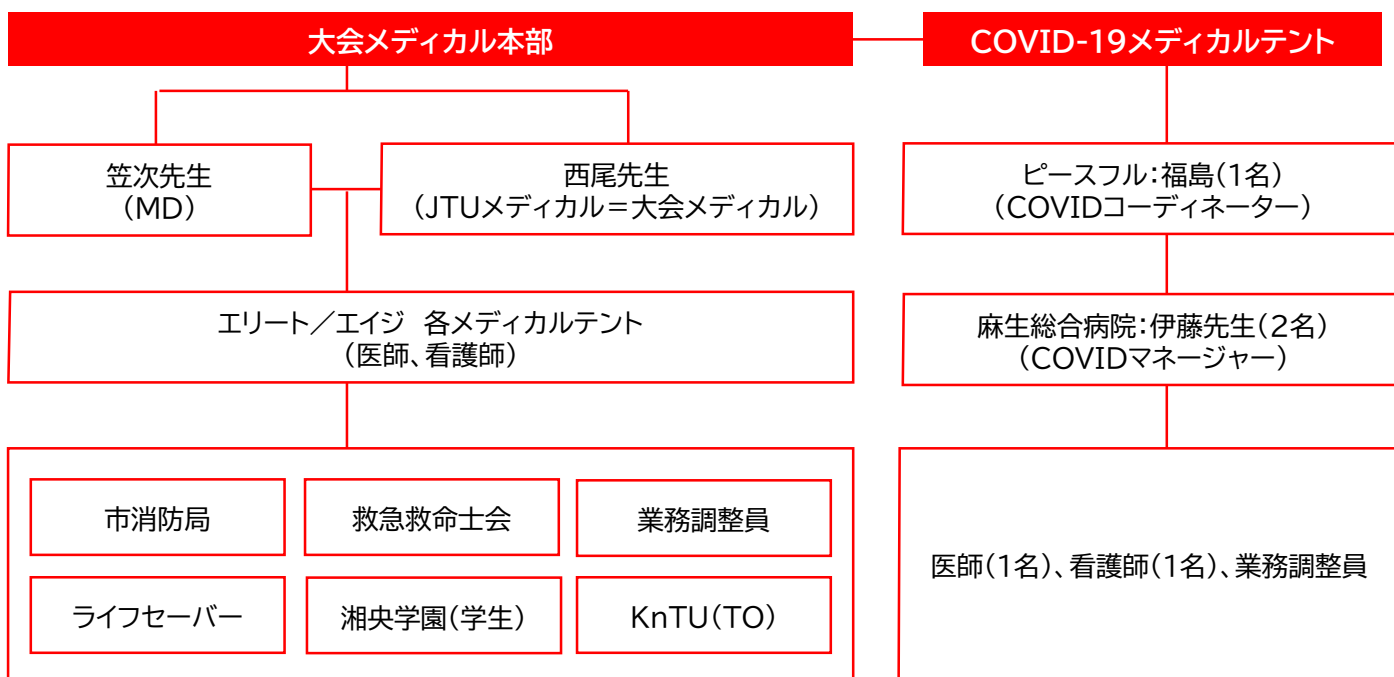
- ▶ 大会主催者等は、感染症に関する専門家等の意見を踏まえ作成したガイドライン等を遵守した上で大会や大会前後の交流活動を実施することとし、全参加者はこれに従う事とする。

- 入国者(選手関係者)の管理は、隔離を前提とする。
- 一般の方と接触する場面无くす。
- ゼロリスクに出来ない場面においては、感染症専門家の意見を踏まえ、防疫措置計画(ガイドライン)を作成する。
- 選手間でのクラスターを防ぐため、各場面(輸送、宿泊、食事等)を想定した防疫措置計画(ガイドライン)を作成する。

特段の事情の基本的な考え方



■ 傷病者・体調不良者発生時におけるメディカル体制図



* COVID-19メディカルテント位置(案)

氏名	業務	場所	電話番号
笠次 良爾	医療代表 (JTU)	医務救護	無線対応 携帯:
西尾 進也	メディカルリーダー	医務救護	無線対応 携帯:
中川 修二	コロナ対策統括者 (大会事務局)	LOC	無線対応 携帯:
伊藤 壮一	コロナ対策担当医師	COVID-19	携帯:
WTチャンピオンシップシリーズ横浜大会事務局		LOCルーム	

※感染疑い者発生時メディカル対応はメールや電話で対応 (次ページ参照)

※体調不良者への対応については後方支援病院にて対応

■新型コロナウイルス感染対策責任者の選定

- ▶ 本大会運営を行う上で、各役割における感染対策責任者を選定した。
下記メンバーを中心に、大会に関わる全ての人々が感染対策に対する共通の認識・理解を持つよう推進する。

■感染症監修：二木 芳人（にき よしひと） 教授

【感染対策責任者】

世界トライアスロンシリーズ横浜大会組織委員会

役割	役職	氏名	電話
全体統括責任者	事務局次長	中川 修二	TEL
コロナ対策統括/LOC	総務部	谷口 郁美	TEL
	競技運営部	河野 樹夫	TEL
	広報部	谷口 郁美	TEL
	ブランディング部	松本 渉	TEL
	サービス部	中川 修二	TEL

役割	役職	氏名	電話
各コロナ対策責任者	宿泊・輸送窓口	JTB 関口・齋木	TEL
	競技運営部	JTU 坂田	TEL
		KnTU 亀山	TEL
	会場設営	セレスポ 藤田	TEL
	計測	ネオシステム 清本	TEL
	公道管理	JEB 小熊	TEL
	メカニック	シマノ	TEL
	海上管理	小林	TEL
	写真判定	石塚	TEL
	日本人選手窓口	JTU 長江	TEL
	エイジ選手窓口	事務局 仲本	TEL
	ホストブロードキャスト	NHK-GM 鈴木	TEL
	メディア対応	JTU 大岩	TEL
	ブランディング	JTU 横山	TEL
SP	日刊スポーツ 篠田	TEL	
	セレスポ 尾見	TEL	

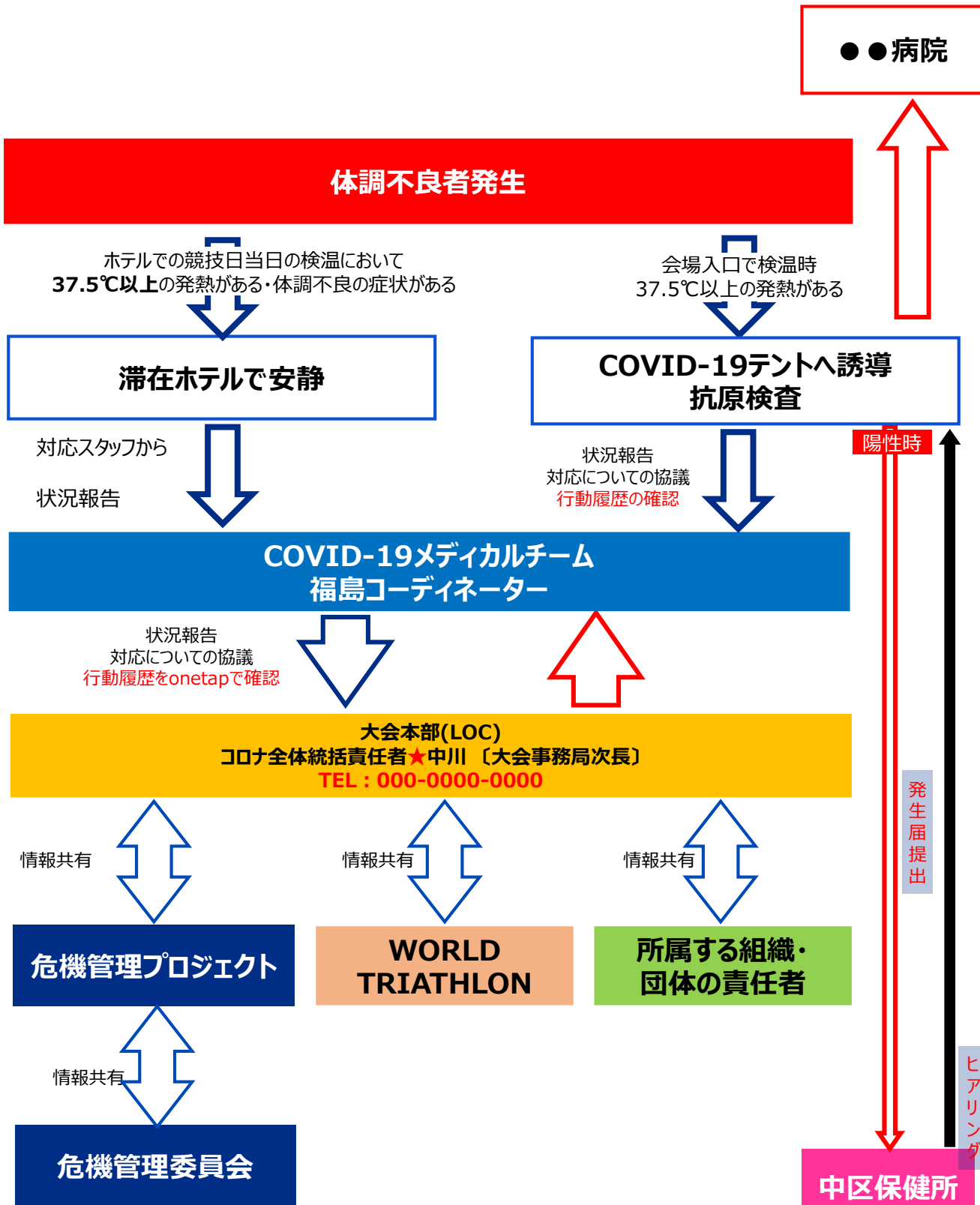
■ 試泳日・大会当日に体調不良者が発生した場合

▶ 会場入口での検温で感染の疑いがある場合

【大会期間中の健康管理】

試泳日/レース日：5月14日(金)・5月15日(土)

▶ 事象が発生した場合、通訳ができる担当者が保健所に駐在する。



行動管理：入国前

- 入国する14日前から実施する健康管理方法
- VISA取得手続き
- 自国を出国する72時間以内のPCR検査の実施及び陰性証明の入手
- 出国する前に用意しておく書類

■ 入国する14日前から実施する健康管理方法

- ▶ 入国者はスマートフォンに**健康管理アプリ(ONE TAP)**を導入し、入国前14日間および、各国へ帰国後14日間
 [4月27日(火)~]は毎日利用し、アプリにて体調報告を行う。
- ※健康管理の開始日・終了日は各国の入国日・帰国日による

【海外・日本選手・関係者における健康管理運用スケジュール】

期日	内容
—	入国者へ健康管理サイトの利用方法を資料にて共有
開始 入国前14日間	ONETAPにて健康管理を実施
入国日	
帰国日	
終了 帰国後14日間 ※各国帰国日による	



行動管理：入国時

■ 成田空港検疫所に関して

検疫(2F入国審査前)

▶ 検疫カウンターでの提出・確認するもの

① 誓約書

② 自国で実施したPCR検査の陰性証明書

※ 中国から帰国・入国の方は検査証明に基づき記入した検査申告書(検査証明添付)を提出。

③ 質問票(機内配布)

④ スマートフォンのOEL(位置情報確認アプリ)・位置情報保存設定(GoogleMaps等の設定)・COCOA(接触確認アプリ)の設定確認を行う。

※ スマートフォンをお持ちでない場合またはアプリをインストールできないスマートフォンをお持ちの場合は、日本入国時に空港でご自身の負担により、スマートフォンをレンタルすること。

※ 2021年3月25日時点(厚生労働省ホームページ : https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00250.html)

入国時、空港検疫で、スマートフォンを確認させていただきます。

スマートフォンをお持ちでない場合またはアプリをインストールできないスマートフォンをお持ちの場合は、日本入国時に、空港で、ご自身の負担により、スマートフォンをレンタルしてください。

① OELのインストール (位置情報確認アプリ)	あなたの位置情報を報告していただくために必要です。
② お持ちのスマートフォンの 位置情報保存設定 (GoogleMaps等の設定)	入国後に陽性となった場合に、位置情報の記録を保健所等に提示していただくために必要です。
③ COCOAのインストール (接触確認アプリ)	新型コロナウイルス感染症の感染者と接触した可能性について通知を受け取ることができます。

▶ 体調状況の確認

▶ 日本人、外国人に関わらず、入国者は全員抗原検査を受診。

▶ 検査結果判明(検査後2~4時間)まで検疫所指定の空港内待機場所に留まる(検査費用は日本国負担)。

※ 陽性の場合、検疫所の指示・管理の元、療養所へ移送・隔離。

※ 変異ウイルスの感染が拡大している国や地域(英国・南アフリカ共和国・アイルランド・イスラエル・ブラジル・

アラブ首長国連邦・イタリア・オーストリア・オランダ・スイス・スウェーデン・スロバキア・デンマーク・ドイツ・ナイジェリア・

フランス・ベルギー・エストニア・チェコ・パキスタン・ハンガリー・ポーランド・ルクセンブルク・レバノン・ウクライナ・

フィリピン・カナダ・スペイン・フィンランド)からの全入国者は日本に入国後3日目に検査を実施し、検査結果を

検疫所・厚生労働省・スポーツ庁に報告する必要あり

(入国後、指定の宿泊施設での隔離は行わない)。

※ 2021年3月26日時点(今後変更の可能性あり)

■ 受入責任者に関して

▶ 受入責任者は、入国者全員の健康状態をメールで保健所へ一括で報告を行う。

【受入責任者】

坂田 洋治（大会実行委員会事務局兼JTUマーケティング事務局）

▶ 住所

〒160-0013

東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 Japan Sport Olympic Square708

▶ 電話番号 080-1921-7532

▶ メールアドレス jpn.triathlon@gmail.com

■ 受入責任者による入国者の健康管理報告

▶ 各国の入国者は毎日健康管理アプリ(ONE TAP)による体調報告を行い、ONE TAPで受入責任者は入国者の健康状態を集約し、横浜市保健所に毎日メールにて一括で報告を行う。

【入国者の健康管理における報告先】

横浜市保健所 検査照会担当者 ●●様

▶ メールアドレス ●●●@●●●

■ 変異株流行国からの入国者の検査結果報告先

検疫所に対して報告を行い、厚労省・スポーツ庁の担当者をCCに入れてメールにて連絡する。

報告項目：入国日/氏名/検査実施時間/検査方法/結果

部署	メールアドレス	担当者名
検疫所業務管理室	quarantine@mhlw.go.jp	検査照会担当者
成田空港検疫所	nrtshoukai@mhlw.go.jp	検査照会担当者
東京検疫所 東京空港検疫所支所	hndshoukai@mhlw.go.jp	検査照会担当者

厚生労働省 新型コロナウイルス感染症対策推進本部

総括班 徳永希美様 E-Mail: tokunaga-nozomi@mhlw.go.jp

スポーツ庁 濱田様 E-Mail: hamada-akito@mext.go.jp



行動管理：滯在期間中

■ホストホテルの宿泊概要

宿泊期間 5月10日(月)～5月17日(月) ※各国の入国日による

※出場選手は3泊分のみ大会負担とする

※コーチ・スタッフ・関係者の宿泊費用はNF負担とする

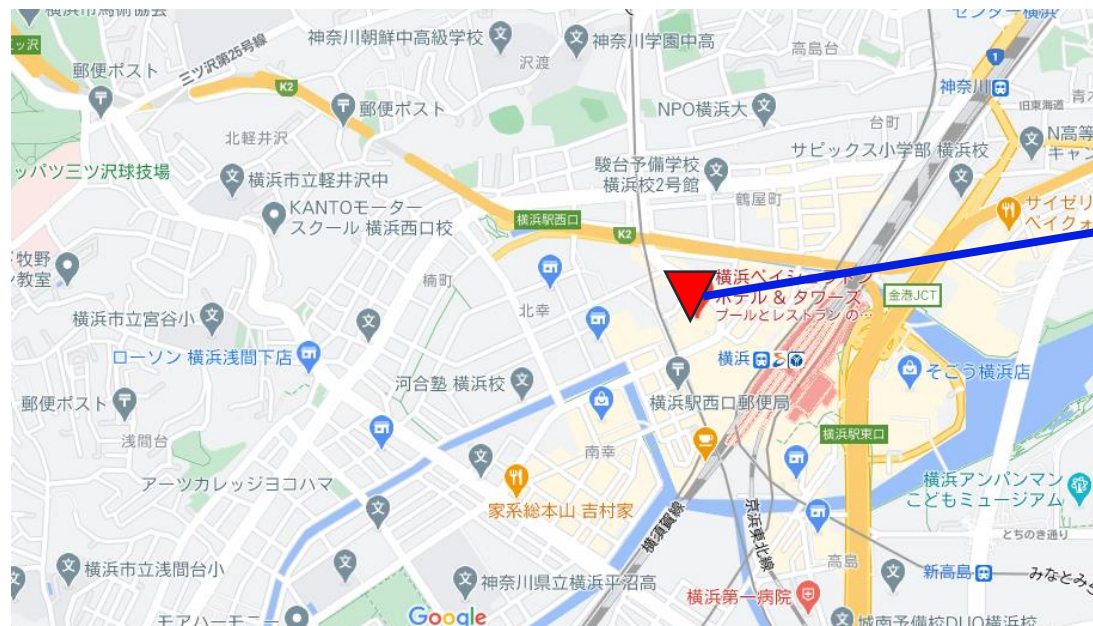
※3泊を超える宿泊費の清算は大会指定のシステム内で決済手続きを行う

※宿泊はシングルルームのみとし、部屋や階数の指定はできない

【HOTEL NEW GRAND(パラ選手の宿泊先)】



【Yokohama Bay Sheraton Hotel & Towers(エリート選手の宿泊先)】



■ トレーニングについて

【内容】

エリートトライアスロン・エリートパラトライアスロン出場選手の練習(スイム・ラン・フィジカルトレーニング等)

◎エリート出場選手(男女各55名、合計110名+コーチ等)

◎エリートパラトライアスロン出場選手(男女合計70名+コーチ等)

※**トレーニング会場は、全館貸切で使用する。**

※トレーニングは事前予約で実施可能となる。

【会場概要】

項目	5月12日(水)	5月13日(木)
会場	スポーツクラブNAS 瀬谷店 (2階プール) 【 スポーツクラブNAS瀬谷 】 スポーツジム・フィットネスクラブなら (nas-club.co.jp)	スポーツクラブNAS 戸塚店 (4階プール) 【 スポーツクラブNAS戸塚 】 スポーツジム・フィットネスクラブなら (nas-club.co.jp)
対象国	ブラジル/カナダ/オランダ/中国/ニュージーランド アメリカ/オーストリア/スイス/南アフリカ/チェコ共和国 フランス/オーストラリア/ルクセンブルグ/香港/ポルトガル	日本/メキシコ/イスラエル クロアチア/イギリス/ノルウェー/コロンビア/ベルギー デンマーク/アイルランド/イタリア/ロシア
使用可能時間	10:00~16:00	11:30~17:30
会場/移動方法	貸し切りバスによる移動	貸し切りバスによる移動
移動時間/距離	約40分 ^{※1} /23km 高速(横羽線):石川町(金港・三ツ沢・保土ヶ谷)新桜ヶ丘ルート	約30分 ^{※1} /20km 高速(横羽線):石川町(狩場・新保土谷)上矢部北ルート
プール	◎水温 31.5℃ ◎広さ 25m×6レーン 使用レーン内訳 ・1~2レーン エリートパラトライアスロン出場選手 ・3~6レーン エリートトライアスロン出場選手 ◎タイムスケジュール ・10:00~12:00 ・12:00~14:00 ・14:00~16:00 ※2時間交代制【定員:30名/2時間】 ※ライフガード配置	◎水温 31.0℃ ◎広さ 25m×5レーン 使用内訳 ・1レーン エリートパラトライアスロン出場選手 ・2~5レーン エリートトライアスロン出場選手 ◎タイムスケジュール ・11:30~13:30 ・13:30~15:30 ・15:30~17:30 ※2時間交代制【定員:30名/2時間】 ※ライフガード配置
トレーニングジム	◎有酸素マシン ◎筋力トレーニングマシン	◎有酸素マシン ◎筋力トレーニングマシン
バリアフリー	エレベーターあり	エレベーターあり
更衣室	あり(3階)	あり(3階)

【会場使用方法及び注意事項】

- (1) プール利用計画及びタイムスケジュールで自国またはご自身のタイムスケジュールを作成し管理する。
- (2) プール利用予定選手は利用前日までに、オフィシャルホテル内のJTBカウンターにて、利用予約をする。
- (3) 移動は、JTBが手配した専用マイクロバスで行う。
- (4) 練習会場では、プール及びトレーニングジムの利用できるが、練習以外の時間はマスクを着用する。
- (5) 感染症拡大対策のため、利用時間や移動時間は厳守する。

■ 試泳日および大会当日における選手・コーチ・チームスタッフ等の輸送計画

【ホテルニューグランドから会場までの動線】

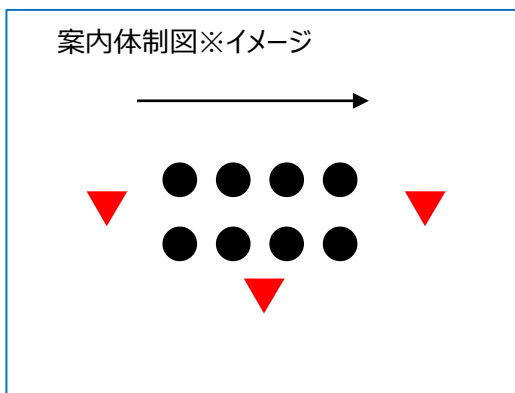


■ 歩道での管理体制イメージ

選手・コーチを複数列で整列して、前後と中腹にスタッフを配置させ移動する。
選手・コーチの人数は調整中

▼ : 誘導スタッフ

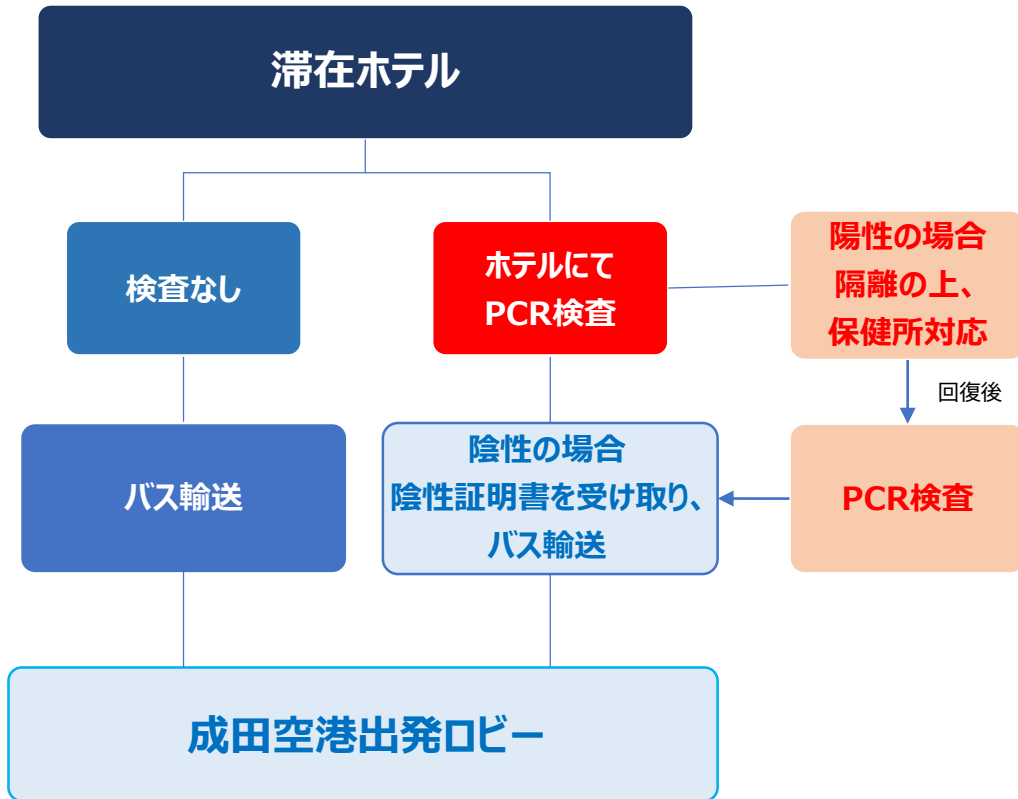
● : 入国者（選手・コーチ）





行動管理：出国時

■ 出国時のパターン



※各国の帰国条件を把握する必要がある

■ 出国前の手続き

- ▶ PCR検査が不要な国⇒通常通りチェックインし、出国。
- ▶ PCR検査が必要な国⇒出国前にPCR検査を受診、陰性証明書を取得し、出国。

※国によって異なる。

→PCR検査・渡航サポートサービスを活用

【PCR検査・渡航サポートサービス】

●サービス概要

- 各国当局が指定する期間に確実に検査予約が可能
- 出張での検査対応(要相談)
- 各国当局の指定する検査手法・証明書に対応

